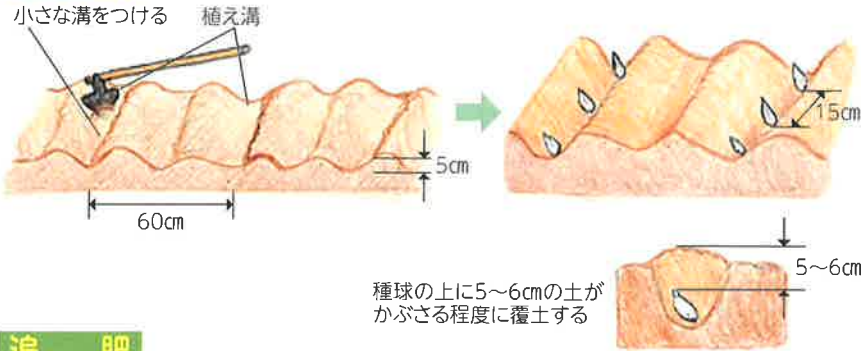


あなたもチャレンジ! 家庭菜園 ニンニク

ニンニク特有の強いにおいにはアリシンで、糖質やビタミンB₁が多く、古くから香辛料や強壮のために利用されてきました。種球が採れないので、球の鱗片を種球に用いて栽培します。種球は9月上旬ころまでは休眠状態にあるので、休眠が覚めてから植えつけます。元肥に用いる堆肥はよく腐熟したものを、害虫の持ち込みがないよう注意します。1株から2芽出た場合は早めに取り除き、また、春の生育盛りになるととう立ちしてくるので、出したい早めに摘み取りましょう。

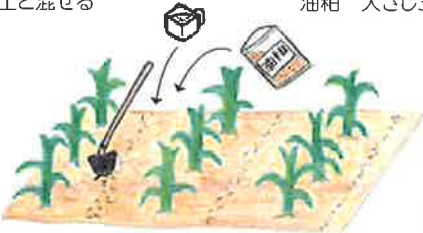
植えつけ



追肥

第1回 10月
列の片側に肥料をまいて軽く土と混ぜる

〈畝の長さ1m当たり〉
化成肥料 大さじ1杯
油粕 大さじ3杯



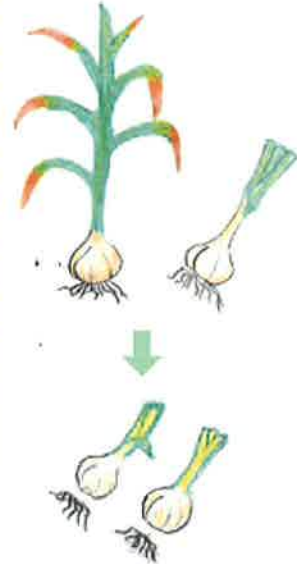
第2回 12月
量は1回めと同じ。畝間に肥料をまいて軽く土をかぶせる



第3回 2月下旬
量、施し方は2回めと同じ

収穫・貯蔵

茎葉が2/3くらい枯れてきたころが収穫の目安(翌年5~6月)



抜き取ったらすぐに根を切り離し、そのまま畑で2~3日乾かす。根切りが遅れると硬くて切りにくくなるので注意